

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年6月4日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから6月4日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

本日は2番の審査会合の関係からとなります。

1枚おめくりいただいて、2ページ目を御覧ください。一番上から参ります。6月8日火曜日、(4) 第36回もんじゅ廃止措置安全監視チーム会合。議題は大きく2つございます。

議題の1は、日本原子力研究開発機構のもんじゅの廃止措置計画に関しまして、3月から開始されております燃料体の処理作業の進捗について説明を受けるものです。

議題の2は、前回、3月25日の会合に引き続きまして、廃止措置の第2段階における課題の検討状況について説明を受けるものです。

1つ飛ばして(6) 第982回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は日本原電東海第二発電所の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関する審査を行うものです。

続きまして、その下です。6月10日木曜日、(8) 第12回主要原子力施設設置者（被規制者）の原子力部門の責任者との意見交換会。議題は大きく3つございます。

議題1は、柏崎刈羽原発における核物質防護事案を受けて、業界全体で始める取組、その他の取組について説明を受けるものです。

議題2は、原子力エネルギー協議会（ATENA）の最近の主な活動内容について説明を受けるものです。

議題3は、議題1、2で説明を受けた内容や、その他、規制委員会の関心に関する事業者からの意見を聴取するものです。

1ページおめくりいただいて、3ページ目をお願いいたします。一番上から参ります。6月11日金曜日、(9) 原子力規制委員会行政事業レビューに係る公開プロセス。こちらは片山次長、伊藤会計担当参事官、黒川政策立案参事官の対応となります。

議題1と2をまとめて御説明いたしますと、5月21日の行政事業レビューの第1回会合で選定されました公開プロセス対象事業が2事業ございます。今回はその2事業を議題1と議題2に分けて、まず担当課室からそれぞれの事業内容の説明を行い、かつ、それぞれ

の外部有識者の評価をいただくものです。

続きまして、(10) 第983回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は大きく2つございます。

議題1は、九州電力川内原子力発電所の設置変更許可に関しまして、標準応答スペクトルの取り入れに伴う4月26日の許可申請の概要説明を受けるものです。

議題2は、電源開発大間原子力発電所の設置変更許可に関しまして、震源を特定して策定する地震動について、全体とプレート間地震に関する概要説明を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、カワムラさん、お願いします。

○記者 朝日新聞のカワムラです。

6月10日の主要原子力施設設置者(被規制者)の原子力部門の責任者との意見交換会の議題1で、その他扱いされてしまったのですが、利用率向上及び長期運転に向けた取組は事業者側から具体的にどんな説明というか、どんな取組の紹介があるか、把握されている範囲でお願いします。

○児嶋総務課長 まだ詳細は分からないのですが、利用率向上は恐らく検査の効率化の話だと思います。長期運転のものは長期サイクル運転ではないかと思われませんが、それ以上の詳細はまだ分かっておりません。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—